



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社

上場取引所

東

コード番号 9360

URL <http://www.shinwart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 徳田康行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 足洗俊之

(TEL) 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,240	0.9	△119	—	△110	—	△128	—
2019年3月期第1四半期	3,211	0.4	△95	—	△86	—	△66	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △135百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △74百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△43.52	—
2019年3月期第1四半期	△22.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	10,229	2,128	20.8	723.50
2019年3月期	10,913	2,300	21.1	782.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,128百万円 2019年3月期 2,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	3.6	320	330.1	311	195.6	244	982.0	83.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	3,000,000株	2019年3月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	57,947株	2019年3月期	57,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,942,053株	2019年3月期1Q	2,942,140株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行きや海外経済の動向と政策に関する不確実性等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は32億40百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業損失は1億19百万円（前年同四半期は95百万円の損失）、経常損失は1億10百万円（前年同四半期は86百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億28百万円（前年同四半期は66百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、データセンター事業及びクラウドサービスを含むインフラ事業とCRMサービスを提供するサービステクノロジー事業並びにBPOセンターは前年同四半期比で増収となりました。一方で、ソフトウェア受託開発事業及び人事給与会計を中心としたビジネス・プロセス・サービス事業並びにパッケージソリューションを中心としたソリューションサービス事業においては一部案件不足が起因となり、情報事業全体では減収となりました。

以上の結果、売上高は24億43百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

セグメント利益は、主力のソフトウェア受託開発事業は、前年同四半期と比較すると増益となりましたが、他事業においては、案件不足とBPOセンターにおける大型案件の他社からの業務移管に伴う一時的な原価増が要因となり減益となりました。

以上の結果、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

②物流事業

売上高は、倉庫事業については、適正料金への改訂、回転の速いスポット貨物の取り込み等の継続的な活動により増収となりました。港運事業では、原糖荷役量の減少があったものの、建材埠頭での既存荷主の取り扱い量が前年より増加したことにより、増収となりました。陸運事業では、小麦粉輸送の増加、乾麺等の保管・輸送の新規獲得等に加えて、前事業年度末より開始したグループ会社との協力体制による長距離中継輸送等が、セメント輸送の減少をカバーしたことにより、増収となりました。

以上の結果、売上高は7億98百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

セグメント利益は、倉庫事業については、空坪対策・適正料金への改訂により、収支は改善したものの、利益率の良いスポット作業が減少したことにより、減益となりました。港運事業では、荷役機器を導入し作業の効率化を図れた事に加えて、利益率の良い新規商材の取り込みが出来、増益となりました。陸運事業では、燃料費の高騰による原価増はあったものの、輸送料金の値上げや有料道路料金の荷主負担等の改善効果があり、増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は78百万円（前年同四半期比57.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億60百万円減少し、36億63百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少4億10百万円と受取手形及び売掛金の減少4億46百万円、仕掛品の増加1億37百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、65億63百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少44百万円と無形固定資産の減少10百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて6億84百万円減少し、102億29百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億6百万円減少し、34億63百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少2億48百万円と短期借入金の減少3億60百万円、賞与引当金の増加2億23百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億6百万円減少し、46億37百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少2億57百万円によるものであります。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億72百万円減少し21億28百万円となりました。これは主として、剰余金の配当と親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少1億64百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,727,990	1,317,175
受取手形及び売掛金	2,119,934	1,672,998
商品及び製品	19,713	17,654
仕掛品	259,083	396,235
原材料及び貯蔵品	1,884	1,741
その他	201,580	263,747
貸倒引当金	△6,066	△5,591
流動資産合計	4,324,119	3,663,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,340,058	1,295,809
土地	2,489,232	2,489,232
その他（純額）	980,364	982,228
有形固定資産合計	4,809,655	4,767,270
無形固定資産		
投資その他の資産	314,512	303,989
投資有価証券	473,476	465,113
繰延税金資産	753,731	791,534
その他	247,391	247,014
貸倒引当金	△11,623	△11,622
投資その他の資産合計	1,462,975	1,492,041
固定資産合計	6,587,144	6,563,301
繰延資産	2,553	2,111
資産合計	10,913,817	10,229,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,142	641,863
短期借入金	1,623,720	1,263,720
未払法人税等	63,616	68,629
賞与引当金	415,657	638,701
受注損失引当金	50	1,006
その他	776,698	849,824
流動負債合計	3,769,885	3,463,746
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	2,283,900	2,026,720
再評価に係る繰延税金負債	171,986	171,986
役員退職慰労引当金	25,336	20,120
退職給付に係る負債	1,841,267	1,870,674
その他	340,659	367,553
固定負債合計	4,843,150	4,637,055
負債合計	8,613,035	8,100,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	802,250	802,250
資本剰余金	162,250	162,250
利益剰余金	1,117,904	953,081
自己株式	△37,394	△37,394
株主資本合計	2,045,009	1,880,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,734	38,629
土地再評価差額金	214,733	214,733
退職給付に係る調整累計額	△5,696	△4,975
その他の包括利益累計額合計	255,771	248,387
純資産合計	2,300,781	2,128,573
負債純資産合計	10,913,817	10,229,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,211,354	3,240,502
売上原価	3,082,522	2,860,789
売上総利益	128,832	379,713
販売費及び一般管理費	223,915	499,474
営業損失(△)	△95,083	△119,761
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3,221	5,083
持分法による投資利益	9,847	5,483
経営指導料	—	4,302
受取賃貸料	4,800	4,854
その他	2,632	1,017
営業外収益合計	20,501	20,740
営業外費用		
支払利息	11,111	10,430
その他	1,150	1,129
営業外費用合計	12,262	11,559
経常損失(△)	△86,844	△110,580
特別損失		
固定資産除却損	—	722
特別損失合計	—	722
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,844	△111,302
法人税等	△20,521	16,745
四半期純損失(△)	△66,322	△128,047
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,322	△128,047

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△66,322	△128,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,494	△8,105
退職給付に係る調整額	752	721
その他の包括利益合計	△7,742	△7,383
四半期包括利益	△74,064	△135,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,064	△135,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,455,817	755,537	3,211,354	—	3,211,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	309	—	309	△309	—
計	2,456,126	755,537	3,211,663	△309	3,211,354
セグメント利益又は損失(△)	77,465	49,992	127,458	△222,542	△95,083

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△222,542千円は、セグメント間取引消去△309千円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△222,233千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,443,155	797,347	3,240,502	—	3,240,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	823	1,306	2,129	△2,129	—
計	2,443,978	798,653	3,242,631	△2,129	3,240,502
セグメント利益又は損失(△)	77,208	78,595	155,804	△275,565	△119,761

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△275,565千円は、セグメント間取引消去△600千円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△274,965千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。